



# おらが湊鐵道応援団報

第150号  
勝田 阿字ヶ浦

## 消費税改定、でも22年間運賃据え置き

### 回数券有効期限 3ヶ月→6ヶ月に延長

10月1日からの消費税率改定に伴い、鉄道各社でも運賃の値上げ申請が続いていますが、湊線は今回も普通旅客運賃と定期旅客運賃の値上げを見送る「英断」をしました。

湊線の前回の運賃値上げは、消費税率が3%から5%に改定された1997年4月。以来、22年半もの長い間運賃を据え置いていることとなります。

また、利用者から要望が多かった回数乗車券の有効期間について、発行日から3か月間を6か月間に延長することにしました。乗車10回分の運賃で11回の乗車、さらに市内自治会加入者は、簡単な申込書記入でもう1回分の割引を受けられるのでおトクです。

### 日工前→工機前 駅名を変更

昭和37年4月に日立工機の従業員専用駅として開業した日工前駅の駅名が、日立工機から工機ホールディングスに社名を変更したことを受け、10月1日の「電動工具の日」に合わせて同日から「工機前」駅に名称変更します。



10月6日(日)、12:30~15:30には記念イベントとして、湊線勝田駅からの乗客を対象にした抽選会が同駅湊線改札内で実施されます。特賞は2名にコードレスインパクトドライバー、特別賞で18名に電動工具の精巧なミニチュア玩具が当たるほか、抽選で外れた先着300名には海浜鉄道から景品がプレゼントされます。駅名の変更にともない、前後の勝田と金上の駅名標もリニューアルします。



### 1日フリー切符は応援券付きで1000円に改定

企画乗車券の「湊線1日フリー切符」は現行大人900円、小人450円を「湊線応援券」付きで、大人1000円、小人500円に改定します。応援券は勝田駅湊線窓口と那珂湊駅窓口で手渡しされるので、ほかの駅の券売機で購入した場合には、応援券の受け取りは勝田駅か那珂湊駅の窓口をお願いします。

応援券の額面はしばらくの間「100円」と印刷してありますが、50円に変更になります。

応援券は四季毎に発行され、4種類を那珂湊駅窓口に応援券と粗品をプレゼントします。応援券の売り上げの一部は応援団の活動費に充てられています。

コキアやネモフィラの時季に好評の「海浜公園入園券付湊線1日フリー切符」(大人1100円、65歳以上1000円)など他の企画乗車券の価格も据え置きです。なお、乗車券の払戻し手数料等はJRに準じた料金に改定されます。詳しくは海浜鉄道HPをご覧ください。



### 10月12日(土) 夕方~最終便 那珂湊-阿字ヶ浦間運休 踏切工事で代行バスに

那珂湊-殿山間の電話局踏切の拡幅工事が10月12日夕方から実施されるため、那珂湊-阿字ヶ浦が同日最終便まで運休します。運休区間は列車代行バスを同日17:59那珂湊駅発から運行します。13日(日)は始発から通常運行します。詳しくは海浜鉄道HPまたは那珂湊駅(029-262-2361)へお尋ねください。

### 11/4(日)までの土日祝日 コキアシャトルバス運行

海浜鉄道では国営ひたち海浜公園で開催中の「コキアカーニバル」などに合わせて、11月4日(日)までの土日祝日の開園時間帯(9~17時台、11月は閉園時間が16時なので早まります)に阿字ヶ浦駅から同公園海浜口まで無料のシャトルバスを湊線の発着時刻に合わせて運行しています。

次第に真っ赤に紅葉するコキアが植えられた、みはらしの丘へはシャトルバス利用が一番早くて確実です。

コキアの紅葉やコスモスは10月上旬から中旬が見ごろですが、それ以前には赤と緑のグラデーション、後半には黄金色のコキアも楽しめるそうです。

### 駅的环境整備 いつもありがとうございます

駅名	10月6日(日)	11月3日(日)
中根	柳沢美田多・相金・三反田班	
高田の鉄橋	柳が丘・関戸町・田中町自治会	
那珂湊	釈迦町 幸町 湊泉町	小川 龍之口町
殿山	和田町・殿山町	七町目・牛久保町
平磯	平磯・平磯清水町自治会	
磯崎	磯崎町自治会	
阿字ヶ浦	阿字ヶ浦自治会	

※朝8:30(中根駅は7:30、高田の鉄橋駅は8:00)から実施します。

那珂湊駅西 ハマキク花壇整備 10月12日(土) ご協力よろしくお願いたします。

### 原点回帰サマースクール、全国から参加者

8月31日から1泊2日、恒例のローカル鉄道・地域づくり大学サマースクールが開催されました。

今回は、地域鉄道活性化のテキスト作成及び人材育成という基本概念に基づき、極力「遊び」の部分を削って講義中心のハードなカリキュラムを構成しました。それだけに参加者数の減少が懸念されましたが、ふたを開ければ申込数は全国から50名。これまで以上に活気に満ちたスクールとなりました。

湊線の原点ともいえる那珂湊のまち歩きに始まり、おとなり大洗町からガールズ&パンツァーによるまちづくりの仕掛け人常盤佳心彦氏、廃線の危機から一転、地域鉄道活性化の先陣を切っているえちぜん鉄道専務伊東尋志氏、翌日は地域交通活性化研究の最先端を行く富山大学から中川大副学長と金山洋一教授、さらに「鉄道最前線」など地域交通に関する報道ではトップを走る東洋経済新報社大坂直樹氏、最後に原点回帰して私から「地域鉄道再生究極のメニュー」発表と、ちょっと濃すぎるかな、と心配するほどのカリキュラムとなりました。さらに、湊線を支えるキーパーソンが参加するパネルディスカッションには、ひたちなか商工会議所の鈴木会頭も初参加し、観光やビジネス面からローカル鉄道の必要性和支援を熱く語りました。

正規のスケジュール終了後の補講も質疑応答が切れることなく、時間制限がなければいつまで話が聞いたのだろうという状況でした。



地域鉄道と地域活性化に関してこれだけ充実した内容の講座は、おそらく他にないものと思われます。今後の湊線の方向性について、自信を深めた2日間でした。

市役所那珂湊支所で講義が続いたサマースクール (海浜鉄道社長 吉田千秋)



### 野菜と干物の朝市 毎月第一日曜日に開催

10月6日(日) 午前9時~11時頃まで 那珂湊駅1番線ホーム ※ホームへの入場は無料です。

### 湊線沿線の「いま」がわかる! 応援団facebookページ「いいね!」9,080名を達成しました!

【海浜鉄道関係】

◇ホームページ <http://www.hitachinaka-rail.co.jp/>

◇ツイッター <http://twitter.com/minatoline>

【応援団関係】

◇フェイスブック <http://www.facebook.com/MinatoLineSupporters>

◇ツイッター <http://twitter.com/keha601>

◇応援団HP <http://minatosen.com> (湊線どっと混む)

※「ひたちなか海浜鉄道」「おらが湊鐵道応援団facebook」でそれぞれ検索もできます。

### MMM2019を終えて

MMM2019 大賞受賞 佐々木 樹さん

MMM2019が閉幕した。本展に出展することが決まってからこれまでの約4ヶ月の間、可能な限りの時間で目一杯那珂湊を訪れた。はじめはぼんやりと浮かんで見えたものたちが、関わりを持つ時間が増えていくにつれて少しずつ輪郭を帯びていく感覚はかけがえのないものでした。



釈迦町集会所の空気、那珂湊高等学校との交流、みなとちゃん応援隊部による学校案内、みなとハウスでの滞在、古民家またたびでの制作と大里さん一家との交遊、海洋高校の学生を通じたワークショップ、くめのサイクルと那珂湊駅からお借りした自転車でのフィールドワーク、おさかな市場・日の出屋・金来軒・龍園・すみよし・栄花・ブリアン・ガスト・ココスでの温かな食事、ピアポート・ジョイフル本田への買い出し、ウェルシアで購入した缶ビールの冷たさ、ファミリーマートで購入した煙草の香り、自販機で購入したメロメロソーダの爽快感…。

数を上げたらキリがないほど、制作のために生活をするだけで関わりを持ったことによる時間感覚を共有できる人がいることを幸福に思う一方で、これらは那珂湊の生活においては表層に過ぎないものなのだろうと感じて



湊公園で展示された大賞作品

いる。美術家の役割というものは表層を越えて、共通認識の種を蒔くことだと私は強く思っている。本展がその契機となり、MMMと那珂湊の関わり合いが育てる果実が無事に実り続けていくことを私は切に祈りたい。

MMM2019 共同代表 山口 恵里佳さん

今年もMMMを開催することができたこと、大変嬉しく思います。私自身、MMMに関わって2年目となる今年は共同代表として1年間をかけてMMM2019の企画・運営を行いました。



MMMは今年で11年目となりますが、MMM2019は10年間で積み上げられたものとこれらをつなぐための重要な年であったと思います。そんな今年は「つながる。もこもこつながる。」をテーマに17組のアーティストによる作品が8月11日より約3週間、那珂湊駅周辺を中心に展示されました。アーティストそれぞれのさまざまな解釈のもと生まれた作品は新たな場所や人との出会いを生み出し、会期を通しての作品自体の変化も伴うことによって鑑賞者に新たな気づきをもたらしていました。

私は8月の大半を那珂湊で過ごしました。那珂湊に滞在すればするほど、場所性を知ったり、訪れたことのない店を見つけたりと、新たな発見が増えました。しかし、発見には喜びだけでなくもの時に現れます。MMM2019を通して私は、発見者は自分の気づきを内に秘めるのではなく、多くの人にその発見を伝える義務があるのだと感じました。

MMMを今後も続けていくにあたり、皆が共に発見し合いながらそれらを伝え、動くことができる気づきのある芸術祭になるよう、実行委員一同精進してまいります。

最後になりましたが、MMMは関わってくださった皆様、そして本展はなにより那珂湊の方々の協力があってこそ成り立ちます。実行委員を代表して、心より感謝申し上げます。

### 「乗車証明書」でおトク!

- ★乗車証明書は、湊線に乗りしたお客様に駅員または応援団が発行する乗車特典のサービスです。証明書を参加店舗に提示することにより各店独自の優待が受けられます(スタンプ当日限り有効)。現在沿線100店(施設)近くが参加し、お買物や宿泊などで優待があります。
- ★サービスは乗車当日なら、何店でも利用できます。
- ★参加店は那珂湊駅待合室に置かれたチラシ、証明書に印刷されたQRコード、海浜鉄道HPまたは応援団facebookページでご確認ください。
- ★乗車証明書裏面に印刷されたQRコードで湊線時刻表と応援団facebookページも確認できます。
- ★乗車証明書は湊線フリー切符でも代用できます。

